

2025年4月26日

2024年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 上連雀無料学習会

代表者・役職名 氏名 会長 新居みどり

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクトの名称

みたか上連雀無料学習会運営事業

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

三鷹市で外国人支援を行っている団体「ピナット」が、支援をしている家庭の4年生の女の子の学習支援についてみたかボランティアセンターに相談を行ったところ、三鷹市にて長年学習支援を行っている文化学習協同ネットワークに声がかかりました。ピナットの新居とボランティアセンターの川村、文化学習協同ネットワークの廣瀬とでこの学習会の運営にあたることになりました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

三鷹市は市民協働センターもあり市民活動団体も多く、市民活動が活発であります。就学年齢の子どもたちに関わる3団体がそれぞれの得意を活かして学習会を開催することはそうした市民活動団体のネットワークの基になっていくと考えてます。ゆくゆくは子ども食堂も含めた就学年齢の子どもたちをサポートする団体、個人の市内ネットワークづくりを展望してます。またこのプロジェクトを通じてこれからの地域課題になるであろう外国にルーツを持つ子どもたちへのサポートについてもネットワークやノウハウを蓄積していきたいです。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

三鷹中央学園地区(中学校区)において地域の公会堂を借りて希望者を対象に週1回の無料学習会を開催しています。学習支援経験者がマネジメントを行い、大学生と市民のボランティアで学習支援を行います。学習の中身は宿題や学校のワークを中心とし、学年を遡っての学習が必要な場合はタブレット等を用いて学習支援を行います。1回の学習会の時間は約90分程度に設定し、最後の30分弱を子ども同士、スタッフと子どもたちとの交流を目的にゲームやお話し会のような時間にします。子どもたち同士またボランティアと子どもたちとの交流のため年1回以上の遠足等のイベントも実施します。またフードバンクとの連携で子どもたちへのおやつや食料提供も行います。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

計画通り年46回の学習会を開催し、のべ227人(実人数7人)の子どもたちが参加しました。2024年は大学生がアルバイトが忙しくなり参加が少なくなりましたが、今年は市民ボランティアが増えました(4名)(有償ボランティアのべ120人、実人数8名)。12月24日にクリスマス会(子どもたち9名とボ

ランティア3名が参加)と3月28日に昭和記念公園への遠足を実施しました。(子どもたち7名とボランティア2名が参加)。

特別支援級の中1女子が高校は普通級に通いたいと学習意欲が向上し、学習会でサポートした結果、学年末試験では英語、数学とも大幅な得点アップにつながりました。また三鷹で子どもたちを応援する市民団体との繋がりも広がってます。(子ども食堂「野の」「もぐもぐ食堂」「三鷹フードバンク」)更に「みたか子育て団体コミュニティ」に参加する有志達と「みたか子ども応援ブック」(仮称)の協働作成計画が始まりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

上でも述べたが学生ボランティアの確保が難しくなっています。また財源がこの市民活動公募助成に依拠しており、最長で2025年が最終になるので財源をどうしていくかも大きな課題です。本年は地元の企業や社会奉仕団体、宗教法人等に声をかけていくつもりです。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

